

たかしま

Takashima City
Public Relations

広報

2020
令和2年
12月号
No. 251

クアオルト®健康 ウォーキング体験会

11月9日(月)に森林公園くつきの森で、
森林を活用した「高島市クアオルト健康
ウォーキング体験会」を開催しました。

主な
内容

- 特集1 高島から始める現代アート ②
- 特集2 困りごとの解決に向けて、一緒に考えます! ... ⑥
- ・秋の叙勲・危険業務従事者叙勲・褒章 ⑧
- ・知っていますか?高島市農産ブランド認証制度 ⑪

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます!

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。
スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、
通信費は利用者のご負担になります。

高島市公式

フェイスブック
Facebook

インスタグラム
Instagram

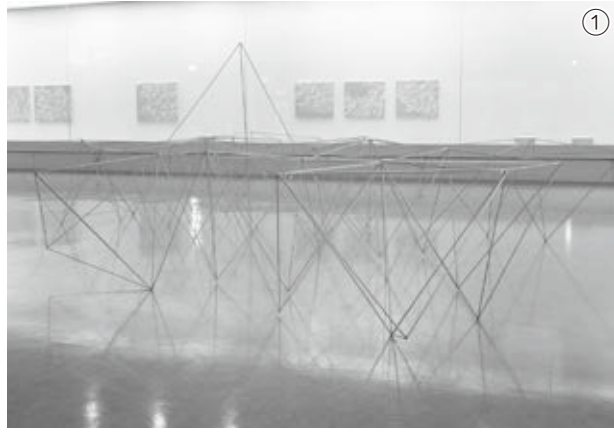
で情報発信中!

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」 ・Instagram「takashima city #たかP写真館」



イメージキャラクター
「たかP」



①

初回の令和元年度は、「視点の邂逅」をテーマに、6人のアーティストの展示を行いました。素材のイメージを変える鉄彫刻(①)、素材の匂いとイメージが交錯する立体(②)、現代社会や日常のリアルを映し出す映像や写真(③)、日用品を日用のイメージから分離させるインスタレーション(展示空間を含めて作品とする手法)(④)など、多彩な作品を展示しました。

昨年度の展示 ——視点の邂逅——



④



③



②

本年度の展示 ——維持される気配——

本年度はテーマをさらに絞り、「気配」に焦点を当てて、アーティストを選出しました。

今回テーマにした「維持される気配」は、私たちが無意識に行っている呼吸や、衣服を着ること、モノを消費すること、自然や他の誰かと関わりをもつことなどを表現しました。それは、ささやかな生命活動を繰り返し考え直し、重ね、交えることで、確かな手応えを感じ取るうとする試みでした。

ビニール袋で呼吸を見えるようにしていくパフォーマンズ作品(⑤)や、重力や天候を利用した彫刻や光と影を取り込んだインスタレーション(⑥)、使い捨てられたマスクや脱ぎ捨てられた衣服などの人間の一部分であったものをモチーフとした平面(⑦)などを展示しました。

それらの作品は今の時代の中で、より一層生々しい現実を投影したものとなり、改めて私たちが生きる今の世界を理解し実感できる展示となりました。



⑦



⑥



⑤

特集1 高島から始める現代アート

藤樹の里文化芸術会館 ☎ (32) 2461

藤樹の里文化芸術会館では、滋賀県にゆかりのある作家を紹介する「地元現代美術作家展 ニュー・ロケーション」という展示事業に取り組んでいます。

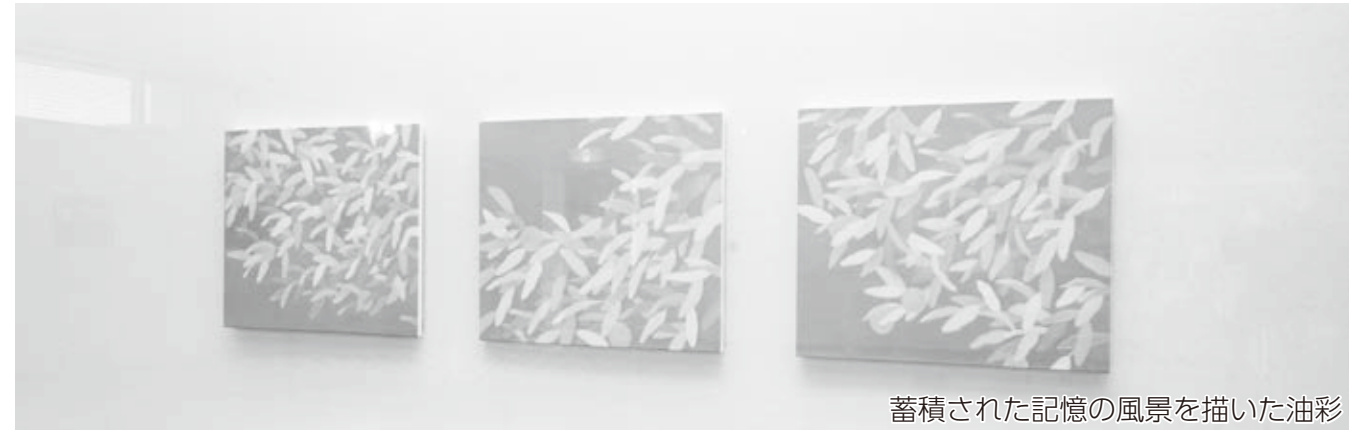
この企画は、県内で活動するアーティストに身近な土地で展示ができる場を提供するとともに、普段あまり馴染みのない現代アートを気軽に鑑賞できる機会を創出することを目的に、互いに新たな発見やコミュニティが形成されることを目指しています。

最近では、現代アートに触れる機会も増えてきましたが、「現代アートはよくわからない」と思っている方も多くありません。そこで今回は、藤樹の里文化芸術会館での展示事業を紹介するとともに、そもそも現代アートってなんだろうっていうところから、鑑賞の手引きの一つとなるようご案内します。





呼吸をビニール袋に留めていくパフォーマンスを投影したインスタレーション



蓄積された記憶の風景を描いた油彩

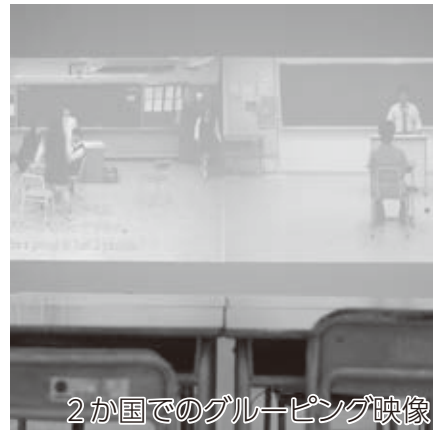
現代アートって なんだろう？

アートは絵画や彫刻だけではなく、美しくないものでもありません。視覚のみではなく、五感を通して知覚に訴えかける作品も数多く制作されています。

既製品を置いただけの作品や、落書きのような作品、音や匂い、自然現象をそのまま見せる作品など、さまざまな形があります。それらには、制作当時の社会情勢や哲学的な思想が含まれることもあります。

なぜなら、現代アートは新しい価値観や、物事の違った捉え方を生み出すものとしての役割をもっているからです。常に変化していく世界や人間についての理解を深め、私たちが私たちらしく生きていくための、一つの方法のようなものでもあります。

さまざまな感性や価値観を育み、確立していくことは、私たちの人生をより豊かにすることにつながっていきます。



2か国でのグループピング映像

作品を 理解するには？

「現代アートはよくわからない」とされる理由は、作品が制作された時代背景や思想概念（コンセプト）を理解していることが前提とされているからです。

鑑賞する際は、作品の背景を読み解き、考え、発見することが大切です。作品の背景については、会場の資料や本、インターネットで調べてみたり、アーティスト本人に聞いてみたり、自由に想像したりするのも良いでしょう。その先は明確な答えがあるわけではありません。好きなように見て、何をどう感じ取っても良いのです。色が好き、形が嫌い、心地よい、



山中の廃材を描いた平面

懐かしい、気持ち悪いなど、そのさまざまな感想から、さらに一歩踏み込み、なぜそう感じたのかと、自分の視点をもって突き詰めてみてください。

自分なりに作品を理解することができた時、それはきっと皆さんの中にある記憶や経験、悩みや疑問に結び付き、スッキリしたり、ビックリしたり、嬉しくなったり、悲しくなったり、モヤモヤしたり、新たな感動を得られるはずですよ。

今後も、藤樹の里文化芸術会館では、現代アート展だけでなく、音楽や演劇などの文化事業に取り組んでいきます。鑑賞事業から体験型、参画型までさまざまです。ぜひ、皆さんも芸術文化に触れてみてはいかがでしょうか。



子どもたちの日常を映した写真

特集2

困りごとの解決 に向けて、一緒に 考えます！

高島市の生活 困窮者支援

☎ 社会福祉課
くらし連携支援室
(25) 81200

さまざまな困りごとを、幅広くサポートするための相談窓口があります！

家計のことや仕事のことなど、暮らしの困りごとがある時は、一人で悩まずに高島市自立相談支援機関にご相談ください。また、ご本人からだけではなく、ご家族や周りの方からの相談もお受けしています。



どんなな人を支援するの？

それぞれの状況に応じ、支援プランを作ります

自立相談支援機関の支援員が、支援を必要とする方と一緒に課題解決のためのプランを作り、継続してサポートします。なお、相談は無料で、秘密は守られます。

○あなただけの「支援プラン」を作ります

家計管理や仕事探しなどの困りごとについて、解決に向けてどのようなことが必要なのか、ご本人と一緒に具体的なプランを作成し、問題の解決を図ります。

○あなたに合った仕事を探し、経済的に自立するためのサポートをします (就労支援)

個人の強みや経験を生かし、やりがいの持てる仕事をみつけるため、ハローワークへの同行や職業適性検査の実施、職業訓練の紹介などについて就労支援員がサポートします。

どんな人を支援するの？

さまざまな事情により、生活に困窮する人を支援します

経済的な問題に限らず、さまざまな事情で困窮している方の相談をお受けし、生活の再建に向け、仕事や住まいの問題などについてご本人と一緒に解決方法を考えます。また、必要に応じ各分野の専門機関や支援につなぎます。

暮らしに困る理由や状況は人それぞれですが、例えば次のような方が対象に含まれます。

- 家賃や税金、車のローンなどの督促が届くけど、どうしたら良いかわからない方
- 家計の管理がうまくできなくて、借金がどんどん増えてしまっている方
- 前の仕事を辞めてから自信を無くしてしまい、仕事が見つからない方
- 病気があって、仕事を休みがちになったことで、収入が増えなくて生活が苦しい方
- 高齢の親と二人暮らしで、長い間ひきこもっている方 など

○社会参加や就職への第一歩として、能力向上や就労体験を支援します (就労準備支援)

社会に出ることに不安があるなど、すぐに仕事を始めることが難しい方には、就労活動に向けたサポートや就労体験、就労訓練を提呈します。(一部工賃が得られるものもあります。)

○家計の立て直しを助言し、サポートします (家計改善支援)

家計状況の「見える化」を行い、相談者が自ら家計を管理・改善できるように家計表の作成や相談支援、関係機関へのつなぎなどを家計改善支援員が行い、早期の生活再建をサポートします。

○家賃相当額を支給し、住まいの確保と仕事探しをサポートします (住居確保給付金)

離職や廃業などで住居を失った方や失うおそれがある方等に対して、必要な条件を満たした方に、一定期間、家賃相当額を支給します。相談・申請窓口は、社会福祉課くらし連携支援室です。

高島市自立相談支援機関

【生活全般・家計改善】

つながり応援センターよろず

(社会福祉法人高島市社会福祉協議会)

☎ (25) 5750

▼住所 新旭町北畑45番地1
(新旭総合福祉センターやすらぎ荘内)

▼相談時間 8時30分～17時30分
(土日・祝日・年末年始を除く)

▼相談方法 電話や面談のほか、訪問によるご相談もできます。

ホームページはこちらから→



【就労支援・就労にともなう生活相談】

湖西地域働き・暮らし応援センター

(社会福祉法人ゆたか会)

☎ (22) 3876

▼住所 今津町住吉2丁目11番地2
(地域生活支援センターほろん内)

▼相談時間 9時～17時30分
(土日・祝日・年末年始を除く)

▼相談方法 電話や面談のほか、訪問によるご相談もできます。

ホームページはこちらから→



相談から支援までの流れは？

あなたに寄り添いながら、安定した生活に向けて支援します

相談から生活再建・自立までの支援の流れをご紹介します。

- 1 相談** 《まずは相談窓口へ》
困りごとをお聞きます
- 2 目標** 《生活の状況を見つめる》
一緒に考えます
- 3 行動** 《支援プランをつくる》
一緒にやってみます
- 4 確認** 《支援決定・サービス提供》
一緒に振り返ります
- 5 見直し** 《定期的なモニタリング》
一緒に見直します
- 6 解決** 《真に安定した生活へ》
困りごとが解決します